

## 生きる力を支援する地域保健・医療・福祉 ネットワークづくり【食生活指導・栄養調査】

### 事業のポイント

- 糖尿病による死亡率が全国1位という徳島県の現状に鑑み、広く県民に対して糖尿病の知識を深め、食事療法、運動療法、薬物療法等の療養指導を身近に受ける機会を提供する。

### 事業代表者・連絡先

松村 晃子（病院栄養管理室・室長）  
770-8503 徳島市蔵本町2-50-1  
tel・fax: 088-633-9202  
e-mail: biryouciyouc@jim.tokushima-u.ac.jp

### 1. 事業の目的

本事業では、糖尿病による死亡率が全国1位という徳島県の現状に鑑み、院内の患者向けに実施している「糖尿病教室」をケーブルテレビで公開し、広く県民に対して糖尿病の知識を深め、食事療法、運動療法、薬物療法等の療養指導を身近に受ける機会を提供することにある。

### 2. 事業の取り組み状況

平成22年5月～6月の間4回に渡り、糖尿病教室を日亜メディカルホールで開催し、同時にケーブルテレビの収録を行った。  
第1回：糖尿病の原因と症状、薬の正しい飲

み方、食生活について。第2回：糖尿病の検査と治療、食品交換表の活用、運動療法、フットケア。第3回：歯周病と糖尿病、日常生活の過ごし方、血糖自己測定。第4回目：生活の中の運動、食事のバランス、低血糖対策と自己注射についての講義と演習を医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師らがチームとして取り組んだ。放映は各回とも6回ずつの計画で行い、多くの県民の視聴を得ることができた。

### 3. 事業実施による成果と今後の展開

県民の糖尿病に対する意識を高め、食生活を含む生活習慣の是正を図る。

## 医療とくしま情報化推進事業

### 事業のポイント

- 徳島県の医療政策課では、徳島県内の医療機関台帳を作成する必要があり、Web上で容易に管理ができるシステムの構築を行い、さらに県民に医療機関の情報を提供するサイトを構築した。
- 医療機関の情報を元に、県民には休日夜間診療所の情報を公開し、休日空いている医療機関を知らせている。さらに、関係者（県職員、市職員、消防）には、2次救急対応医療機関を提示している。

### 事業代表者・連絡先

森川 富昭（病院情報センター・病院教授）  
770-8503 徳島市蔵本町2-50-1  
tel・fax: 088-633-7458  
e-mail: morikawa@clin.med.tokushima-u.ac.jp

### 1. 事業の目的

徳島県内の医療機関の情報を集約し、医療機関台帳を作成するために、Web上で医療機関が自施設の情報を登録するシステムを構築することを目的としている。さらに、県民に医療機関の情報を周知する仕組みを構築することを目的としている。

### 2. 事業の取り組み状況

徳島県内の医療機関が本システムにログインして自施設の情報を登録する「医療とくしま情報箱」の運用を開始している。さらに、県民に医療政策課からのお知らせや、医療機関の情報を通知する「医療とくしま」も運用し

ている。また、休日夜間診療所の情報や、2次救急対応医療機関を表示させる「徳島県救急医療情報システム」も運用を行っている。

### 3. 事業実施による成果と今後の展開

上記のシステムを運用することにより、医療機関の情報を県民に周知できるようになっている。さらに、県内の医療機関台帳のとりまとめも容易に行うことができるようになっていく。今後の課題としては、危機管理部南海地震防災課と実施している「すだちくんメール」と連携した広域災害時の情報収集システムを構築する予定である。

## 高校生向け「遺伝子組換え実験講習会」事業

### 事業のポイント

- 高校生を対象に大学の充実した設備・施設を活用して遺伝子組換え実験講習会を行い、基礎的な実験技術の習得、及び遺伝子組換えに関する理解と知識を深めることをねらいとする。

### 事業代表者・連絡先

高浜 洋介 (疾患ゲノム研究センター・教授)  
770-8503 徳島市蔵本町3-18-15  
tel: 088-633-9452 fax: 088-633-9453  
e-mail: takahama@genome.tokushima-u.ac.jp



### 1. 事業の目的

大学の設備・施設を活用し、高校生自らが遺伝子組換えの基礎的な実験を体験することにより、遺伝子組換えとバイオテクノロジーに関する正しい知識と理解を深めることをねらいとする。また、大学で研究を進める教員とコミュニケーションを図ることにより将来の進路等について考える契機とする。

### 2. 事業の取り組み状況

文部科学省主催のサイエンスパートナーシッププロジェクトの支援を受け、平成17年度より年1回、1回2日間にわたって、県内の高校生を対象に「ゲノムと遺伝子組換えの基礎知

識」の講義と、「大腸菌の形質転換」「ヒトゲノムの多型解析」「蛍光タンパク質導入生物の観察」の3課題を中心とする実験室実習を実施している。実際に研究を進めている大学の研究室に高校生を迎えて、楽しく具体的にゲノムや遺伝子組換えについて講習することで、生物学や医学を中心とするライフサイエンスへの興味をかきたてることを目指している。

### 3. 事業実施による成果と今後の展開

科学の現場に高校生を迎え、次世代を担う彼らに「ホンモノ」をみせることで将来の進路等について考える機会となることを期待する。

## サイエンスクラブ“放射線”事業

### 事業のポイント

- 放射線とは？からわかりやすく説明するとともに、身の回りには自然からの放射線を測定するための測定器である「霧箱」を実際に作成する。
- 作成した霧箱を使ってどのような種類の放射線が、どのように見ることができるかやその性質の一部を実験して確認する。

### 事業代表者・連絡先

三好 弘一 (アイソトープ総合センター・准教授)  
770-8503 徳島市蔵本町3-18-15  
tel・fax: 088-633-9416  
e-mail: hmiyoshi@ri.tokushima-u.ac.jp



### 1. 事業の目的

中学生・高校生を対象に、科学における放射線という観点から、霧箱を作成して身近にある放射線（自然放射線）を観測するとともにその性質について、放射線測定器を使用することで放射線について学ぶ機会をサイエンスクラブ“放射線”として設けることとした。また、“放射線”を通して科学を体験してもらうことを目的としている。

### 2. 事業の取り組み状況

平成22年度から、中学生・高校生を対象した身の回りには放射線について霧箱を作成しての観察や放射線計測を行うことを目的としてサイエンスクラブ“放射線”事業を行った。

### 3. 事業実施による成果と今後の展開

今年度は、中学生5名と母親1名の参加があり、参加後に肯定的な感想を持ってくれたことから、今後は、参加者数を増やすために、夏休み前に各校に本事業の案内ポスターを配布する予定である。また、実施内容についても中学生にわかりやすく理解できるようにその方法と時間について改善していきたい。

## 文部科学省 質の高い大学教育推進プログラム(教育GP) 「高齢社会を担う地域育成型歯学教育」事業

### 事業のポイント

- 口腔保健および福祉の専門的立場から、健康長寿の推進に貢献できる人材の育成を目指して、「高齢社会を担う地域育成型歯学教育」に取り組んでいる。
- 地域福祉体験学習「お口の健康長寿教室」を実施し、参加学生が、高齢者に対する口腔保健の重要性と介護予防へ果たす役割の意義を学ぶとともに、地域貢献事業としての役割を果たす。

### 事業代表者・連絡先

日野出 大輔 (大学院ヘルスバイオサイエンス研究部(歯学系)・教授)  
770-8504 徳島市蔵本町3-18-15  
tel・fax: 088-633-7543  
e-mail: hinode@dent.tokushima-u.ac.jp



お口の健康長寿教室での「健口体操」の様子



リクリエーション「吹き矢」の様子

### 1. 事業の目的

高齢社会に求められる歯科医療従事者とは、常に問題意識を持ち、どこでも、誰に対しても、その保健・医療・福祉の専門的役割を担う歯科医師・歯科衛生士である。本学歯学部では教育GP「高齢社会を担う地域育成型歯学教育」の取り組みとして、医療人としての自覚と人間力の向上をめざし、地域に根ざす口腔保健・高齢者福祉の重要性を体得することを目的とした授業を行っている。

### 2. 事業の取り組み状況

地域福祉体験学習は、複数の実習施設(高齢者福祉施設等)において教員が口腔機能の向

上プログラムを実施し、学生が補助する内容である。

実習期間：平成21・22年4月～7月

対象者：徳島大学歯学部歯学科・口腔保健学科2年生(101名)

実習施設：介護老人保健施設・ディサービスセンター・グループホーム等(16カ所)

### 3. 事業実施による成果と今後の展開

本取り組みにより、学生への学習効果「医療人としての自覚をもつ」に沿った成果が得られた。また、施設職員の口腔機能向上プログラムへの理解の深まりから、地域貢献事業としての役割を果たしていると考えられた。

## 県自治研修センター主催 「徳島大学セミナー」事業

### 事業のポイント

- 県自治研修センターが自治体職員を対象に行う研修を、受託事業として大学が請け負い、「徳島大学セミナー」として実施するものである。

### 事業代表者・連絡先

日置善郎 (大学開放実践センター・センター長)  
770-8502 徳島市南常三島町1-1  
tel・fax: 088 656-7276  
e-mail: hioki@ias.tokushima-u.ac.jp



### 1. 事業の目的

大学セミナーを通して、自治体職員としてふさわしい知識の向上を図り、連帯意識を共有するとともに、全体の奉仕者としての自覚を育成する。

### 2. 事業の取り組み状況

以下のように6講座を行った。

1. 参加型プランニングの合意形成技術
2. 自然災害のリスクマネジメント
3. 国際化講座
4. 統計解析入門講座～やさしい社会統計学～
5. 情報技術支援講座  
～ ICTとネットワーク活用術～
6. フィジカルコンディショニング講座

### 3. 事業実施による成果と今後の展開

延べ256名の参加者があり、終始、意欲的に受講していた。

今後は、さらにセミナーを発展させるため、徳島大学全体で幅広い内容の講座を開設し、実践センターとしても講師派遣に協力して行きたい。